



変圧器・開閉器用保護機器

悪環境や振動、衝撃にも耐え得る ハイスペックな計測機器

兵田計器工業株式会社

全国
21関西
21

ISO 9001

<http://www.hyoda.co.jp/>

Company Profile

兵田計器工業株式会社

住所 / 〒579-8034

東大阪市出雲井本町1-6

創業 / 大正6年

設立 / 昭和28年

資本金 / 3,300万円

従業員 / 131名

TEL / 072-982-1121

FAX / 072-988-2959

■主な事業内容

工業用金属製温度計、熱電対、測温抵抗体、重電用保護機器、圧力計、保護管および関連機器の製造・販売

■主な取引先

重電・原子力、船舶・化学プラント、繊維・染色・食品などあらゆる工業分野



当社のセールスポイント

原子力用や新幹線車両用などインフラ整備に欠かせない特殊保護機器を提供します。



代表取締役
兵田 善男さん

プラント、原子力発電所、交通システムなど、社会の至るところで使われる計測機器のメーカーです。温度計は国内シェアの9割。JRの車両変圧器用としては唯一の認定を受け、初代から最新型までの新幹線に採用されてきました。異常環境や振動などの条件にも対応し1個からの受注にもお客様の満足いただける製品を作り出しています。



エネルギー分野の各種用途温度計

重電用保護機器のシェアNo.1

各種産業の温度計や圧力計などの計測制御関連機器を開発・製造する兵田計器工業。温度計は国内シェアの9割を占め、発電施設やプラントの電気設備といった重電用の保護機器においても、圧倒的なシェアを誇る。

顧客のひとつJRで、新幹線の車両変圧器用温度計として認定されているのは、同社のみ。初代から最新のN700系まで搭載されている。「山あり谷ありの地を走る新幹線は、開業から45年間、無事故です。その安全を守るため、寸たりとも計器の不良を起こせません」と兵田善男社長。

原子力発電所用にしても「絶対」が求められるのは同様。用途に応じて様々なトラブルを想定し、ハイスペックに設定した仕様を標準化した製品。それが兵田ブランドである。

一個からのオーダーメイド

創業以来、組み立てた計器は1万品目を超える。平成21年度には

東大阪ブランド推進機構において、ハイブリッド式温度発信器がオンリーワン製品の認定を受けた。従来のダイヤル温度計は、流体の膨張収縮を用いて温度を測定する仕組みで、長距離測定ができない欠点がある。一方ハイブリッド式は、温度センサを感温部に合体させ、現場測定と同時に遠隔測定が可能。

別々の温度計で担っていた用途を二台でこなせるため、各種プラントの温度を現場で見ると共に制御室に電送するといった用途で役立てられている。

こうした難度の高い計器を生み出せるのは、創業90年超の歴史があつてこそ。同社では様々な使用条件に応える計器を1個からでも受注する。組み立てはほぼ手作業。ケースの構造や塗料、溶接の仕方を工夫しながら試作と実験を繰り返す。

不良品率は0.1%未満

不良品率は0.1%未満と低い。

平生の教育はもちろんのこと、月例の品質会議で、常によりよいものを追求。また従業員全員が品質方針カードを携帯し、個人目標の達成度合いを数値で報告。出た不良品はその場で処理するなど、迅速かつ確実にミスをなくしていく。

「日本のものづくりは、経験から適切な方策を思いつく熟練職人が引継ぎてきました。そうした技能の伝承が当社では欠かせません」。様々な工業用システムが常に正常に動くことで営まれる現代社会。丹念な作業から生まれる同社の製品が、安全で快適な暮らしを見守り続けている。

